



2026年3月31日

各位

会社名 株式会社デンソー  
代表者名 取締役社長 林 新之助  
(コード番号6902 東証プライム・名証プレミア)  
問合せ先 経理部長 荒井 是  
(TEL. 0566-25-5511)

### 中期経営計画「CORE 2030」の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年度から2030年度までを対象とした中期経営計画「CORE 2030」を決議しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 中期経営計画「CORE 2030」の概要

当社は、2026年3月期を最終年度とする「2025年中期方針」のもと、電動化技術を基盤に環境負荷低減に貢献する製品を幅広く提供するとともに、信頼性の高いADAS製品の提供を通じて交通死亡事故低減に寄与してきました。また、FAや農業などの新領域でも製品・サービスを開発してきました。これらの取り組みを通じて、当初の狙い通り、各領域において将来の成長につながる確かな布石を打つことができました。

その一方で、品質費用の発生や、将来成長を見据えたリソース投入増化などにより、利益率およびROEは当初設定していた目標水準には届いておらず、収益基盤強化には課題を残しました。先進安全や自動運転、SDVの高度化を含め、モビリティを取り巻く変化が加速する中、付加価値を高める商品づくりや開発・製造プロセスの革新など、次の成長に向けて必要な強化点もより明確になりました。

これらの成果と課題を踏まえ、外部環境が変化する中でもお客様に提供する価値を高め続けるための新たな中期経営計画「CORE 2030」を策定しました。

#### 2. 中期経営計画「CORE 2030」における目指す姿と成長戦略

当社は、創業以来一貫して取り組んできた「社会課題の解決」に挑み続けます。お客様や市場の声に真摯に向き合いながら、「技術とモノづくり、そして人の力で、より良い製品・サービスをお客様に届ける」という原点を忘れず、社会に新たな価値を創出します。

本中期経営計画では、「モビリティから広がる未来社会を人の可能性で実現する企業」を目指し、以下3つの競争力の強化を柱とした成長戦略を推進します。

##### ① モビリティの多様化に応える「商品づくりの強化」

エネルギー事情や政策・産業動向、人々の暮らし方など、それぞれの国や地域の特性に応じて多様に進化するモビリティに対し、お客様のどの選択肢にも必要とされる価値を技術で支えていきます。

これまで培ってきた先端研究を活かして、半導体の高性能化・省力化や材料開発など、競争力をさらに高める基盤技術を深化させます。さらに、メカ・エレクトロニクス・ソフトウェアを融合したシステム提案力で、各技術をお客様や社会のニーズに最適な形で統合し、エネルギーマネジメントや高信頼なADASシステムなど、車両全体のシステム価値へと進化させます。

商品づくりの強化のために、2030年までの5年間で研究開発費として3.7兆円を投じ、電動化と

知能化で、現状の約 1.5 倍となる約 4 兆円の売上を目指します。

② 現場に宿る実践知と AI を融合した「モノづくりの革新」

当社が長年培ってきた模倣困難な知見やノウハウは、AI 時代における大きな財産です。当社は、これらを開発プロセスや生産現場に実装する AI を開発しています。このような実践知と AI の融合により、飛躍的に生産性を向上させます。

2027 年に竣工を予定している愛知県西尾市の善明南工場では、こうした AI の進化を実装したモノづくりの革新を実現します。

③ 新たな価値創出を牽引する「人づくり・パートナー共創」

当社は、お客様やパートナーの皆様、政府や業界団体との強いつながりを活かし、1 企業では解決できない課題の解決にも取り組んでいきます。

高い信頼性や高度なシステムを要する自動車の技術を応用し、農業や FA の領域でも、労働力不足の解決や生産性向上などに挑みます。共に成長できる戦略的パートナーとの連携を加速させ、2030 年には農業領域で 1,000 億円、FA 領域では 3,000 億円規模の売上を目指します。半導体事業では、車載半導体の技術を産業機器や民生機器へ展開し、車載を含めた各領域のシナジーを最大化することで、広く産業の基盤強化に貢献するとともに、さらなる企業成長を図ります。

そして、当社の成長の原動力は「人」です。社員一人ひとりが、新たな価値創出に向けて挑戦し、お客様や社会からの信頼と共感を生み出せるよう、社員の挑戦を力強く後押しします。

### 3. 経営指標

2030 年に向け、以下の目標を設定します。

<主な財務 KPI>

- 売上高: 8 兆円以上
- 営業利益率: 10%以上
- ROE: 11%以上
- 投入・株主還元: 8 兆円以上 (2026 年度から 2030 年度までの累計額)
- DOE: 4.0%以上

<その他主要 KPI>

- 環境領域
  - 電動化売上: 1.9 兆円
  - CO<sub>2</sub>排出量: Scope 1 / 2 クレジット付きカーボンニュートラル  
(2035 年目標: クレジット無しカーボンニュートラル)  
Scope 3 CO<sub>2</sub>排出量 2020 年比 25%削減
- 安心領域
  - ADAS (知能化) 売上: 1.0 兆円
  - 事故シーンカバー率: 80%
- 農業生産性 75%向上
- 産業の労働生産性向上 19,000 人相当の人手不足解消に貢献

### 4. 参考資料

中期経営計画「CORE 2030」に関する説明資料を、当社コーポレートサイトにて公開しております。あわせてご参照ください。

URL [https://www.denso.com/jp/ja/about-us/corporate-info/policy/mid-term\\_management\\_plan2030/](https://www.denso.com/jp/ja/about-us/corporate-info/policy/mid-term_management_plan2030/)

※本資料に記載した内容は、当社が 2026 年 3 月 31 日時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づいて作成したものです。将来の不確実な要因の影響により、実際の業績や戦略などは、記載されている予想または想定とは異なる可能性があります。

以上